

令和5年度 高校生防災アクション 実施報告書

学校名	吉城高等学校
テーマ	自分や地域の人を守るための思考力、判断力、表現力を身につけ、災害時に安全な場所へ避難することや早期に自主的避難を開始することについて適切に行動できる高校生を目指す。災害発生時における行動だけでなく災害発生前の備えについて考える。防災士資格取得を目指す。
1 目標	
○減災力テストのQ11、Q12、Q13を、平均値3.5以上(5点満点中)にする。 ○2学年対象に「防災士資格取得」チャレンジ。	
2 自校で取り組んだこと	
(1) 2学年全クラス対象による災害図上訓練(D I G)	
①災害図上訓練(D I G)までの取り組み	
・防災リーダー(2学年代表4名)	
→ D I G用パワーポイント作成	
→ 飛騨市役所危機管理課への聞き込み(飛騨市の防災・減災について)	
②災害図上訓練(D I G)・・・体育館使用	
・パワーポイントによる説明。	
・地域単位のグループ(29グループ)に分かれ、白地図と各地域のハザードマップを使用	
・土砂災害警戒区域、浸水想定区域等の危険箇所をマジックにて色分けし、確認。	
・出題された問題について避難確認。	
・シナリオ	
①趣旨の説明 ②テーマ、目標 ③予備知識クイズ(3問)	
④学校付近の危険箇所 ⑤古川のハザードマップ説明	
⑥災害図上訓練開始・・・各地区ハザードマップを写し、災害時の行動(2問)	
⑦まとめ	
(2)地域への働きかけ	
○飛騨市役所危機管理課防災担当者との交流	
・飛騨市が行っている防災、減災の取り組みについて	
・飛騨市及び吉城高校付近の現状について	
・災害時における高校生の役割について	
・飛騨市が行っている防災士の資格取得について	
○防災タウンウォッチング参加	
・飛騨市防災士会普及部主催、小学5年生～高校3年生対象の防災教育事業参加。	
・小中学生のリーダーとなり、街中を散策しながらA E Dや公衆電話の場所を確認する等、防災・減災意識を高めた。	

3 自校で取り組んでいく際にあった困難とその解決に向けて努力や工夫したこと

【DIG】

- ・パワーポイント作成にあたり、生徒目線によるよりわかりやすい資料作成に努めた。
- ・導入段階で、予備知識クイズを行い、「防災」への興味を持たせるようにするとともに、「防災」と「減災」の違いにも触れた。
- ・地域ごとのグループ(4～6人)を作り、マップ・ハザードマップもそれぞれの生活地区の物(29種類)を作成し、現実感を持って取り組ませた。
- ・手順、考え方をスムーズに行わせるために、発表用プリントを作成し記入させた
- ・進行をスムーズにするために、事前にグループ分けのプリントの掲示や、立札を用意して素早く集合できるようにした。
- ・事前にDIGのリハーサルを何度も行った。
- ・2学年各クラスに今年から新しく「防災係」を作ることにより、防災リーダーがいないクラスへの連絡がスムーズになり、本番の防災授業中でもサポートしてくれる存在となった。

【地区との交流】

- ・飛騨市役所危機管理課との交流により、生徒が疑問に思った問題について積極的に質問をして専門家の意見を聞くことができ、防災授業への意欲が高まった。

4 目標に対する成果

- ・減災力テスト(対象 2年:105名)

1回目(6月) 全体の平均点52点 ⇒ 2回目(11月) 平均点54点

Q11:住んでいる所の水害や土砂災害で危ない場所を地図で確かめていますか。

(2.4点) → (3.2点) + 0.8点

Q12:住んでいる所の水害や土砂災害で危ない場所を自分の目で確かめていますか。

(2.4点) → (2.9点) + 0.5点

Q13:水害や土砂が起ころうな時、避難所に行くか、高いところに行くか、今のところにいるか、また、そこまでどうやって行くかを決めていますか。

(2.6点) → (3.1点) + 0.5点

- ・全体の平均点が2点上がった。
- ・目標の3.5点には達することができなかったものの、各課題項目の減災力は向上した。

5 目標に対する今後の課題

今回の減災力テストは、大幅に点数が増加することはみられなかったが、全体にポイントは上がっている。今後はさらなる向上を目指すために資料の改善や発表方法の工夫が必要である。具体的には、飛騨地域で起きた過去の災害の事例をもとにして訓練のシナリオをより身近なものにしたり、生徒が主体的に関わることができるようグループ間でディスカッションをし、意見交流を通じて解決策を模索していくなど、生徒が災害図上訓練の現実味をより感じれば、取り組みへの姿勢が改善し、減災力テストの結果のさらなる向上につながるのではないかと考える。

6 自校における来年度の取組(本年度の学びをどのように引き継ぐか、または深めるか。)

- (1)減災力テストの点数、DIGの実施方法については、さらなる研究を行い点数向上に努めていく。
- (2)今後も飛騨市役所の方と密な連携を取り防災の必要性を全校生徒に示していきたい。
- (3)来年度も防災士資格取得については、積極的に受講するよう早い段階からPR活動を行っていきたい。
- (4)来年度も生徒が防災について主体的に参加できる場を設けていきたい。